報道発表資料

東京消防庁　Tokyo Fire Department

平成２７年１０月２６日

平成27年度
東京消防庁総合震災消防訓練の実施について

東京消防庁では、東日本大震災での課題等を踏まえて、さらなる震災対応力の強化を図るため、管下全消防署において、全消防職員１万８千人及び消防団員２万２千人を動員した大規模な総合震災消防訓練を下記のとおり実施します。

訓練では、陸上自衛隊、東京都（建設局）、災害救助犬団体など、震災時における消防活動業務の協力に関する協定締結団体等との連携訓練も実施します。

記

１　実施日時

平成２７年１０月３１日（土）７時３０分 から 翌１１月１日（日）８時４０分 まで

２　実施場所

東京消防庁管下全域

３　訓練想定

平成２７年１０月３１日（土）７時３０分頃、東京湾北部を震源とする首都直下地震が発生し、被害が拡大したとの想定。

４　訓練内容

⑴　非常招集命令伝達訓練
⑵　参集訓練
⑶　初動処置訓練
⑷　情報収集訓練
⑸　通信運用訓練
⑹　警防本部等運営訓練
⑺　部隊編成訓練
⑻　部隊運用訓練
⑼　長期活動体制確保訓練

5　取材可能な訓練会場

⑴　実施場所

夢の島訓練場及び夢の島公園の一部等（以下「訓練会場」という。）
江東区夢の島三丁目１番１号（別図参照）

⑵　参加人員

約１０８０名（消防職員約９５０名、他参加機関約１３０名）

⑶　参加車両

消防部隊等約１００隊

⑷　参加機関

７機関（東京都建設局道路管理部、東京都建設局河川部、東京都第三建設事務所、陸上自衛隊、災害救助犬団体等、消防団、新木場地区連絡会事業所）

⑸　訓練内容

ア　複合災害対応要領
イ　交通事故対応要領
ウ　多数傷者対応要領
エ　遠距離送水、延焼阻止線設定要領
※　訓練を実施する職員には、内容を事前に知らせないブラインド型訓練になります。

⑹　当日の報道受付・レクチャーについて

当日８時００分に訓練エリア内・現地連絡調整所前において受付を実施し、取材についてのレクチャーを行います。

⑺　駐車場は公園内の有料駐車場をご利用ください。

6　取材にあたっての注意事項

⑴　取材を希望される場合は、１０月２９日（木）１５時００分までに下記の問合せ先にご連絡ください。

⑵　取材時は、必ず自社腕章を着用してください。また、訓練会場では安全管理のため自社ヘルメットを着装してください。

⑶　訓練会場内は足場の悪い場所があります。また、消防車両等が走行しますので、必ず係員の指示に従い、事故防止に十分注意してください。

問合せ先
東京消防庁㈹　03-3212-2111
広報課報道係　内線 2345～2350
新宿消防署㈹　03-3371-0119
消　防　係　内線 350～352

別 表

訓 練 会 場 進 行 表

時 間	訓 練 内 容 等
7:30	地　震　発　生
8:00	報道レクチャー（現地連絡調整所前にて実施　別図参照）
8:30	複合災害対応訓練
11:00	交通事故対応訓練
13:00	多数傷者対応訓練 遠距離送水対応訓練
16:00	訓練実施隊の引揚げ開始及び係員の交替開始
17:00	遠距離送水対応訓練（応援隊等）
21:00	現場交替訓練（応援隊等）
3:00	実施隊及び係員等帰署完了（仮眠態勢確保）

【訓練の重点】
- 連続して多発する大規模災害への対応要領
- 震災時における救出救助活動要領
- 倒壊家屋及び多数傷病者発生時の対応要領
- 搬送物資の選定及び搬送要領（搬送方法・燃料・食料・人員等）
- 消防ヘリコプター等を活用した隊員、資器材の早期投入及び連携活動要領
- 車両が容易に接近できない状況での火災防御を前提とした救助活動要領
- 長時間活動を想定とした後方支援活動要領
- 関係機関等との連携活動要領

【訓練の重点】
- 遠距離大量送水及び延焼阻止線の設定要領
- 長時間活動における活動隊員の現場交替要領
- 長時間活動を想定とした後方支援活動要領

別　図

訓練（実動訓練）実施エリア